

# 共通基盤図システム

## ～資料が簡単に作れるツール～

- PCのスタンドアロン環境で動作
- 地理院地図等を背景に見やすい地図作成
- 道路に関する情報の発信・管理などが容易

平成30年6月

## 共通基盤図システム概要説明

### 【公表用として使える】

- 道路行政の公表用資料の地図にも使用可(計画線等の未公表データは表示のON/OFFが可)

### 【信頼性が高い】

- 地名等表示は、国土地理院のデータを使用しているため、信頼性が高い

### 【道路管理情報が使える】

- 地名、緯度・経度、路線番号、道路標高、キロ程(直轄のみ)、構造物名称等の道路詳細情報がデータ化されており、検索機能を使った検索も可能

### 【毎年更新】

- 道路管理者から提供される情報に基づき、毎年必ず更新される地図であり、道路情報・地形が正確に反映

### 【多彩なデータ整理が可能】

- 位置情報のあるリスト(CSVファイル)を使った共通基盤図へのマークプロットなども可能であり、災害箇所把握、事故履歴、被災履歴等の整理にも活用可

### 【書き込みが可能】

- 表示画面の地図上に文字やマークなどの書き込みが自由

### 【任意範囲の作業可能】

- 特定市町村のみ着色することが可能であり、広域位置図作成などにも活用可



**各道路管理者が共通のツールを使うと効率的で正確な情報共有できます。**

## 活用事例紹介(共通基盤図システム)

### 【利用想定例1】 事業整備進捗図

作成時間:約15分~

供用が2年以上先の道路でも、路線のShpファイルなどがあれば簡単に表現できる。

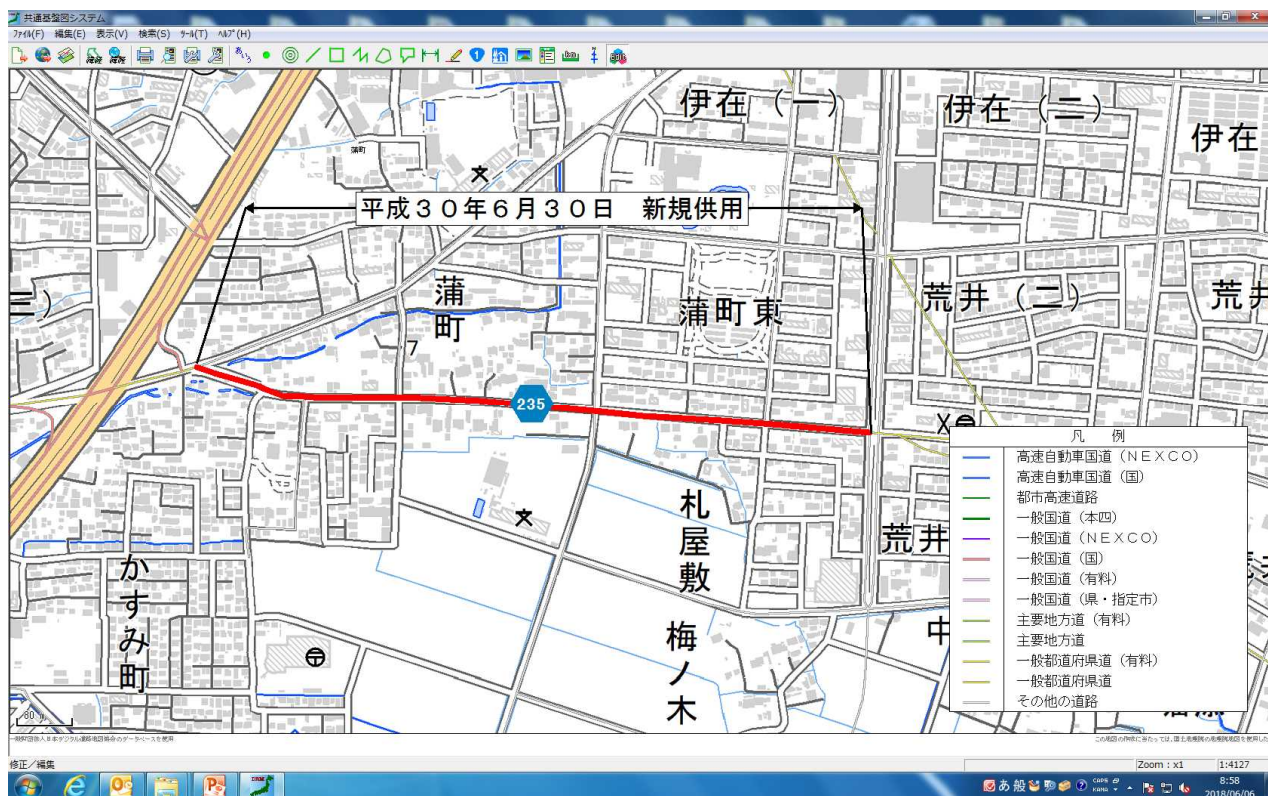


現地写真などを簡単にプロットすることが可能になる。

## 活用事例紹介(共通基盤図システム)

### 【利用想定例2】 新規供用路線図作成

作成時間:約10分~



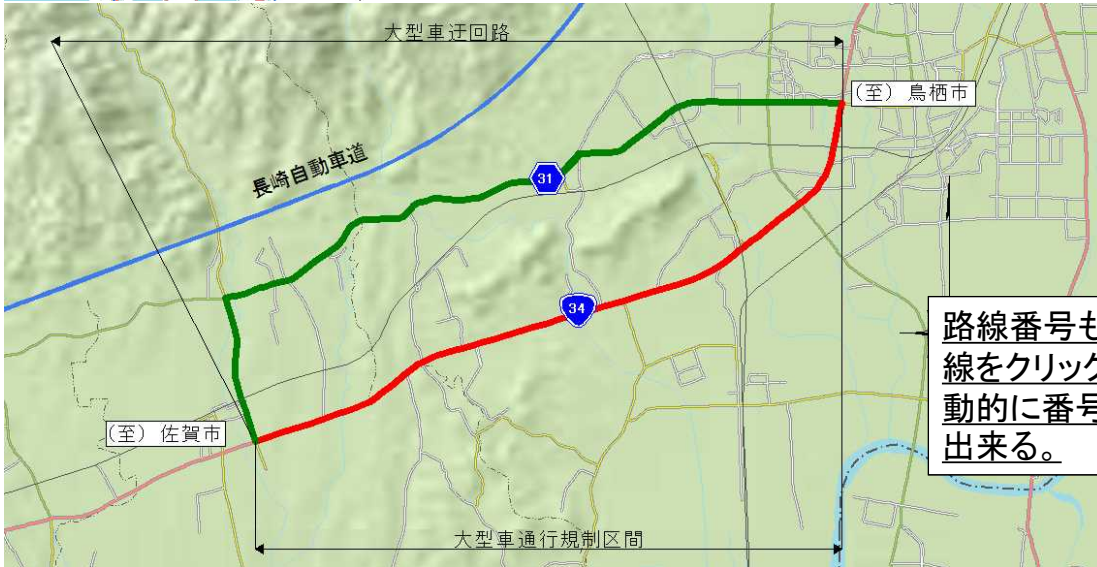
## 活用事例紹介(共通基盤図システム)

### ・【利用想定例3】 通行規制図の作成 作成時間:約20分～



特定県域および市町村域を任意の色で着色することが出来る。

道路を任意色で着色し、旗揚げや文字の記載も可能。



路線番号も記載したい路線をクリックするだけで自動的に番号を判別し記載出来る。

5

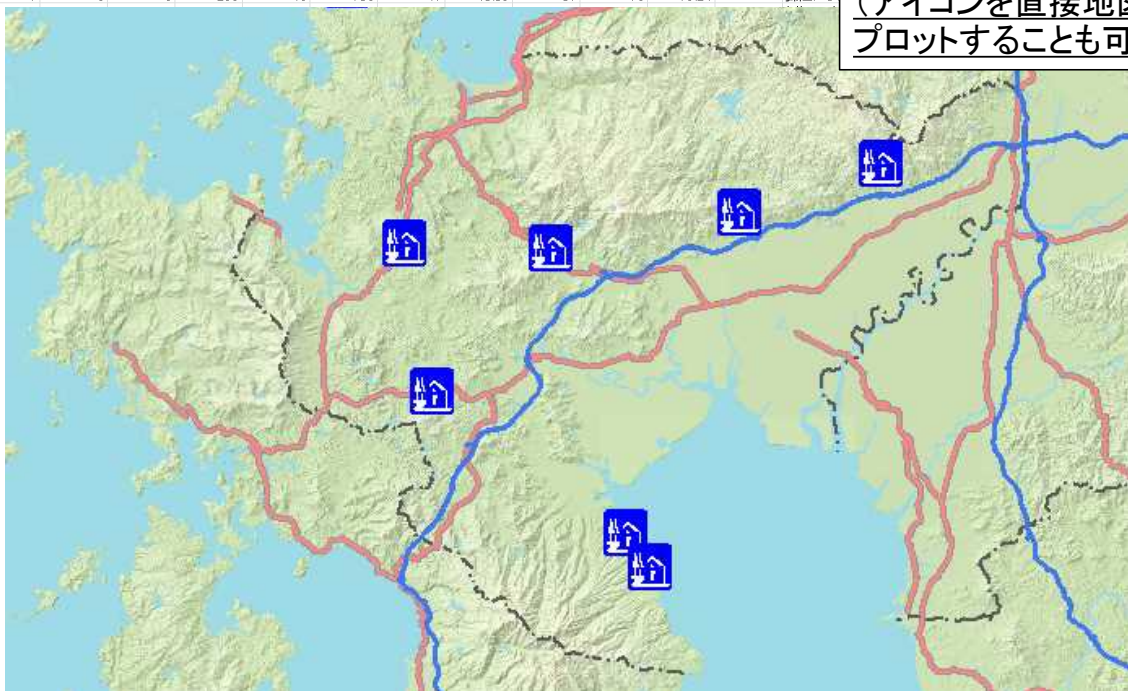
## 活用事例紹介(共通基盤図システム)

### ・【利用想定例4】 県内「道の駅」マップの作成

作成時間:約5分～

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	マーク番号	R	G	B	サイズ	東経(度)	東経(分)	東経(秒)	北緯(度)	北緯(分)	北緯(秒)		
2	1	0	0	0	255	40	129	24	39.15	28	15	21.06	奄美大島
3	1	0	0	0	255	40	130	38	13.38	31	11	57.09	山川港活
4	1	0	0	0	255	40	130	46	10.74	31	10	55.71	根占
5	1	0	0	0	255	40	130	35	31.065	31	17	55.38	いぶすぎ
6	1	0	0	0	255	40	130	47	43.89	31	16	15.24	錦江口

道の駅をCSVファイルに整理していれば即座にマップ上での表示が可能。(アイコンを直接地図上へプロットすることも可能)



6

- **【利用想定例5】 被災箇所図作成** 作成時間:約10分～

災害箇所の座標がわかればマップ上へ表示でき、災害状況の写真等を地図上にプロットできる。



7

## 共通基盤図システム

### 【共通基盤図システムに関する問い合わせ先】

(一財)日本デジタル道路地図協会

担当:企画調査部 山本、松山

電話 03-6272-4853(直通)

03-3222-7990(代表)

E-mail [yamamoto@drm.or.jp](mailto:yamamoto@drm.or.jp)

[matsuyamat@drm.or.jp](mailto:matsuyamat@drm.or.jp)

ご連絡いただければ、後日「共通基盤図システム」を送付いたします。  
また、ご要望があれば、県単位などでの実技を取り入れた説明会を開催することもできます。

8